

ゆきふるさとまつり 楽市楽座・大感謝祭

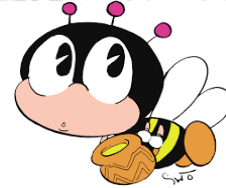
10月22日(日)、4年ぶりに開催された「ゆきふるさとまつり」… 油木地区だけでなく町内外から多くの方々が油木シルトピアグラウンドに集い、会場は「笑顔」であふれました。「笑顔」から「元気」、「元気」から「明日」へ繋がる「活力」が感じられる、青空の下での「まつり」になったのではないのでしょうか。
これを機に「復活・交流・支え合い」の機運が、一步一步確実に根付いていけば良いですね。



ゆきの灯り

第82号
令和5年11月発行
油木協働支援センター
TEL 82-0701
FAX 82-2228

生涯学習マスコット：マナビィ



～復活・交流そして支え合い～



千客万来/笑門来福

「お知らせ」
昨年より産前産後休暇をとっていました、福万彩名事務局長が11月より復職しました。庶務・経理を中心に従事します。引き続きよろしくお願い致します。
なお、坂口優美子事務局長は退職いたします。短い期間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

「ふるさとまつり」開催にあたり、関係の皆様には大変お世話になりました。ご協力に感謝申し上げます。

- ゆきふるさとまつり実行委員会/油木協働支援センター -

「子ども食堂」支援ボランティア募集

「子どもの健やかな成長を図る」「つながりの場をつくる」ことを目的に、町子育て応援課が中心となり「子ども食堂」事業が開始される予定です。

油木協働支援センターでは、「子ども食堂」事業開始に伴い、協力していただけるボランティアを募集します。

お問い合わせ 油木協働支援センター

☎ 82-0701 ㊟ 82-2228



10月20日(金)、「第5回軽トラ掘り出し朝市」を開催しました。
あいにくの雨で旧百彩館の軒下を使用しての店開きとなりましたが、「生花」「葡萄」「野菜」等が並び、9時の開始とともに買物をする方々が訪れました。
毎回訪れる方も多く、開催を楽しみにされているようです。集える場所があり、人の営みで活気溢れる「油木」でありたいものです。
関係の皆さん、雨の中ご協力ありがとうございました。

次回は11月20日(金)開催です!

第5回軽トラ掘り出し朝市開催!

～文化連盟油木ブロック総合文化祭 美術部門～



会期 令和5年11月24日(金)～26日(日)
9:00～17:00(最終日15:00)
場所 油木山村開発センター(入場無料)
内容 会員・油木保育所・油木小学校
神石高原中学校・油木高校の作品

アートクラブ②/パン教室①

「大人の教室」

10月10日(火)、平田サア子先生の指導で「パン教室①」を開催しました。本年度1回目のメニューは「ジャムパン」「アップルパイ」作りで、「〇〇何g」「△△何g」...と細かく計量しながら、協力して美味しそうな「パン」や「パイ」が焼き上がりました。

今年の「パン教室」は3回開催されます。しっかり教室で腕を磨いて、家庭でも学習の成果を試すことができましたら良いですね。

10月11日(水)、若林佐都子先生の指導で「アートクラブ②」を開催しました。今回のテーマは「秋の花」で、それぞれが選んだ画材をパステルを使って画用紙に表現しました。

「奥ゆき」「背景」「ボカシ」等の手法を学びながら、作品を完成させていきました。満足のおいしく作品に仕上がったようです。



「ちょっといい話」「油木の話題」等、元気の出る情報があれば油木協働支援センターまで...

☎ 82・0701

☎ 82・2228

4年ぶり!! バレーボール大会開催!!

優勝：東油木 準優勝：西油木A



油木地域スポーツ協会バレー部では、9月23日(土)に6チーム約50名の参加を得て、4年ぶりとなるバレーボール大会を開催しました。

4年ぶりの大会でしたが、各地域の役員の皆様や参加いただいた各チームの皆様のご協力のおかげで、競技を通じて地域の交流を深めることができました。

今後できる限り、健康増進と地域交流を図ることを目的に大会を続けていければと思います。引き続きご協力をお願いいたします。(油木地域スポーツ協会バレー部)

10月のゆきキッズ

10月の「ゆきキッズ」は2回開催され、秋の爽やかな季節の中、楽しく活動することができました。

■グラウンドゴルフ教室(10月14日)

前原一始先生の指導で、「グラウンドゴルフ」に挑戦しました。コースの作り方から、打ち方や採点の仕方まで学び、一緒に指導していただいた地域の方と楽しくコースを回りました。

■お茶教室③(10月21日)

小田緑先生と神石高原町女性会油木支部の皆さんの指導で、「お茶教室」を開催しました。今回のテーマは「秋の美り茶会」で、菊を活けた床の前で作法を学びながらお茶をたてる体験をしました。



スカッシュを楽しみませんか?

「スカッシュ」がロサンゼルスオリンピック(2028年)の追加競技(初採用)に決定しました。(令和5年10月16日ニュース)

油木コミュニティセンターには「スカッシュコート」が常設され、郡司孝一先生の指導で年5回のレッスンの開催と、Jsスカッシュクラブによる週1回の活動が実施されています。この機会に「スカッシュ」の面白さを体験して、5年後の「オリンピック」を楽しみにしませんか?

■郡司孝一先生の指導(次回予定)

令和6年3月10日(日) 10:00~

■Jsスカッシュクラブ活動日

毎週金曜日 19:00~



—互いに支え合える地域でありたいですね—

10月23日(月)より、油木高校寮生への食事提供が再開されました。業者の都合が理由だけでは済まされない事態が続いていましたが、これで一安心です。

期間中、多くの方の支援もあったようです。その中でも「にしかわ」を利用して「温かい味噌汁」を作って寮生に提供する活動を行われた方々もおられました。寮の夕食時間に合わせた調理は大変だったと思います。お疲れさまでした。

地域住民が個人の力を高めながら、つながりあい、積極的に行動することで互いに支援しあえる、「地域づくり」が必要だと思えます。



—メディアとの上手な付き合い方を— (参考：香川県教育委員会「今こそ家庭教育」)

★地域で子どもを見守り育てましょう(油木協働支援センター)



〇テレビ、ゲーム、インターネットなど、メディアは便利で、その恩恵は計り知れないものがあります。しかし、その開館は強烈に依存しすぎると怖い面もあります。ケータイのメールを出したけど、返事が遅くて不安になったり、イライラしたりしたことがある方もいると思います。メディアの使用は反応が早いのが、良い点でもあり怖い点でもあります。

〇匿名性の高さを利用して、ネットによるいじめや犯罪に子どもたちが巻き込まれることも少なくありません。子ども自身の情報モラルを高めるとともに、そのような問題に巻き込まれないようにするためには、やはり人と人の顔を突き合わせた(Face to Face)コミュニケーションの時間をもってもらいたいと思います。

—メディアとの過剰な接触は避ける—
長時間の接触は、日常生活のリズムの崩れや睡眠不足に起因する健康障害、また、現実世界の中で「自分の気持ち」を伝える言葉や、「ほかの人の気持ち」を感じる力が身につかず、親子関係を含めた人間関係づくりに悪影響をもたらす。社会性を身に付ける機会を失うことになり、人間として生きるために必要な力が育たないと考えられている。 —日本小児連絡協議会提言参照—

Face to Faceのコミュニケーションを



メディアとの上手な付き合いを

- 子育てチェック
- なんとなくテレビをつけている時がある。
 - 子どもがゲームやインターネットをする時のルールがある。



ワンポイントアドバイス

- 1 ゲームやテレビは一日60分以内に行きましょう
- 2 親子でメディアの危険性を理解しておこう
- 3 Face to Faceのコミュニケーションを1日30分だけでも取りましょう